

地域BWAについて



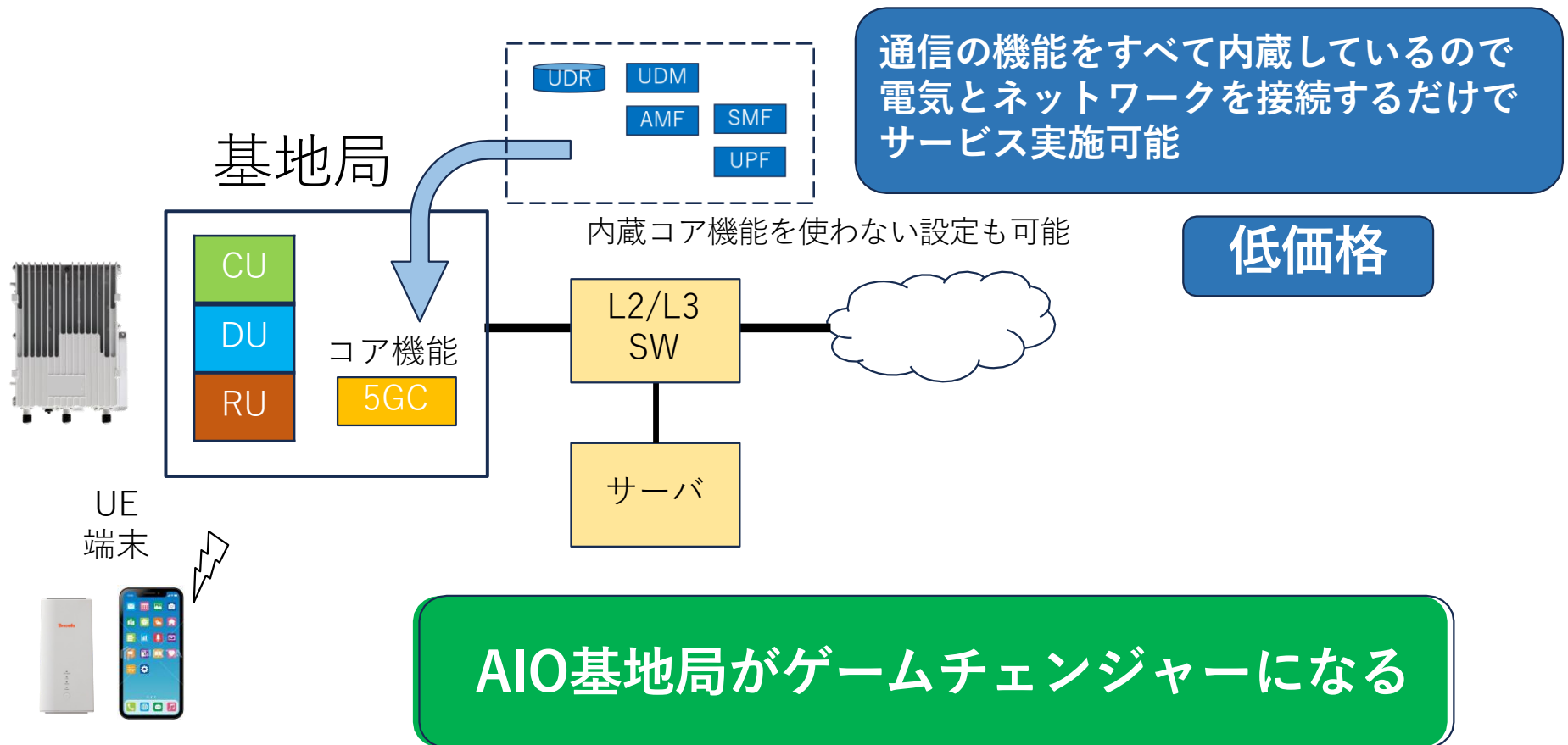
株式会社恒河技術

地域BWAとローカル5G（サブ6帯）

	地域BWA	ローカル5G（サブ6帯）
2008年	地域WiMAX免許付与開始	
2014年	高度化BWA（LTE方式）免許開始	
2019年	自営等BWA免許付与開始	ミリ波免許申請受付開始
2020年	NR方式地域BWA制度化	サブ6免許申請受付開始
現在	114事業者 約6800基地局 322市区町村（全自治体の18.5%）	約1000基地局 （約半数がNUROワイヤレス）
対象	市区町村の同意が必要（自営等BWAは不要） ケーブルテレビ等の電気通信事業が主	自己土地での免許から始まったが、他者土地でも免許が受けられるように変更

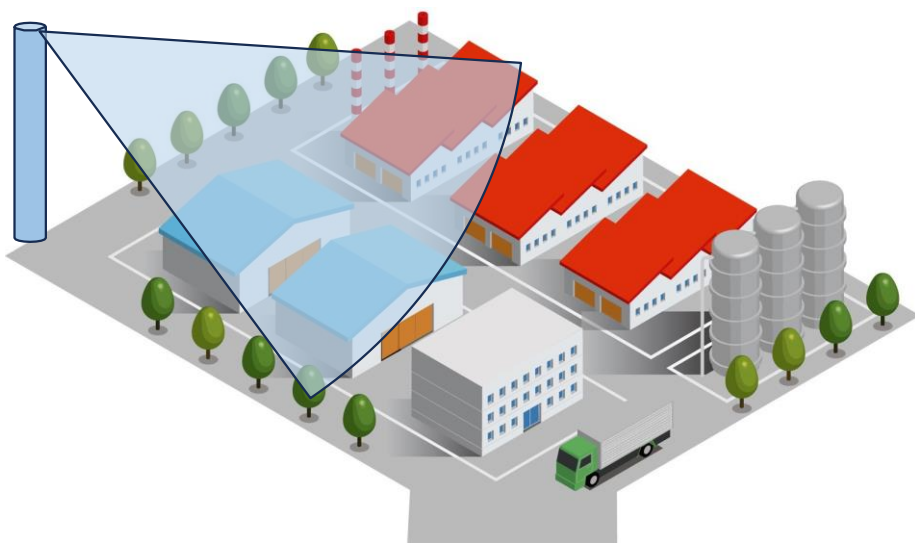
ミリ波 現在は28GHzを指す
サブ6 6GHz以下の周波数帯

コア機能内蔵型

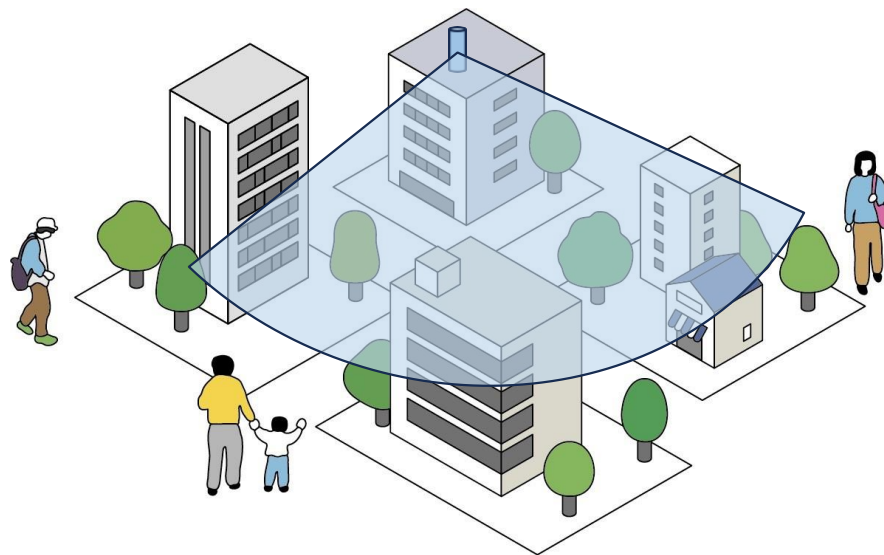


AIO基地局によるサービス

企業内イントラネット（B2B）
サーバーを敷地内に設置することで
安全なネットワークを構築できる



FWAサービス（B2C）
低コストでインターネットを提供する



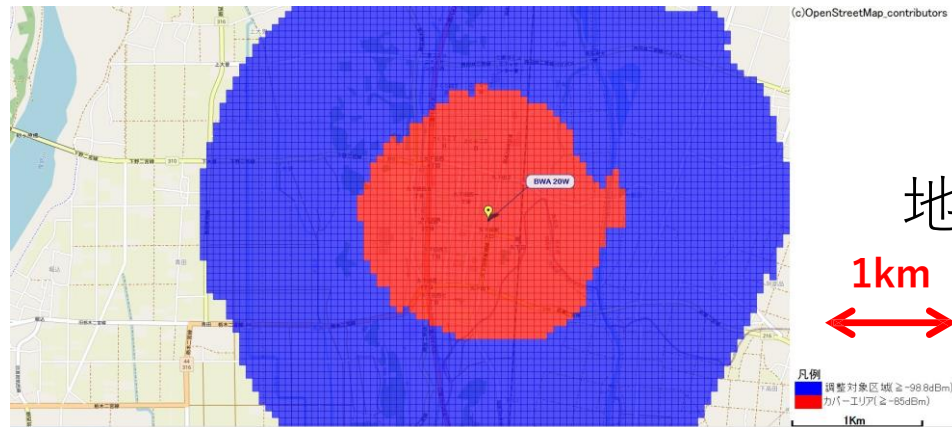
地域BWAと 自営BWA

地域BWAと自営等BWA

	地域BWA	自営等BWA
2008年	地域WiMAX免許付与開始	
2014年	高度化BWA（LTE方式）免許開始	
2019年	自営等BWA免許付与開始	自営等BWA制度化
2020年	NR方式地域BWA制度化	自営等BWA免許開始
特徴	市区町村の同意書が必要	地域BWAがない場所で免許可能 自己土地利用が前提
	電気通信事業用 CATV事業者が多い	一般業務用が主 ミリ波5Gのアンカーに利用可

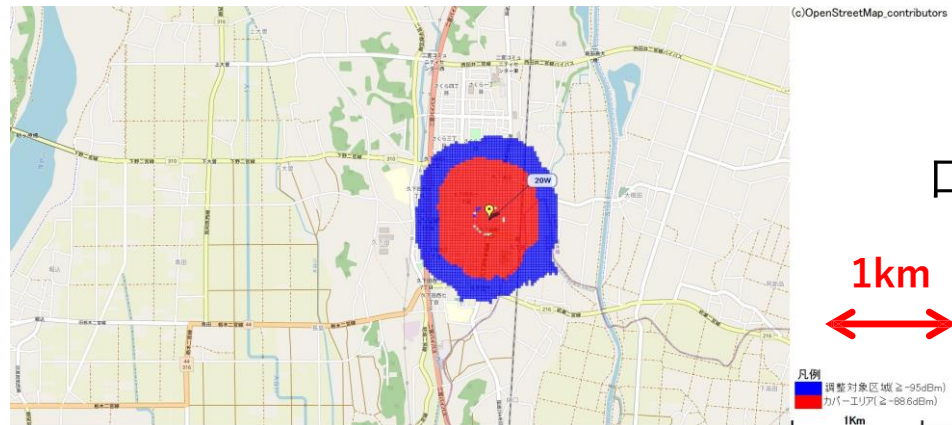
2026年電波政策懇談会で地域BWAの見直しが議論される可能性がある

BWAとサブ6帯5Gのエリアの違い



地域BWA

1km



ローカル5G

1km

条件はいずれも
オムニアンテナ
高さ20m
20W

波長と電力密度の違い
からBWAの方が長距離
伝送可能

サブ6帯は100MHz、
BWAは20MHz幅

地域BWAの普及が進まないのは・・・

積極的に地域BWAに取り組むケーブル事業者がある一方、全国の3分の2の事業者はBWAに参加していない

FTTH投資が優先
投資が巨額になる
採算がきつそう

→
→
→

低コストの
システムで
解決できる

無線のノウハウがない

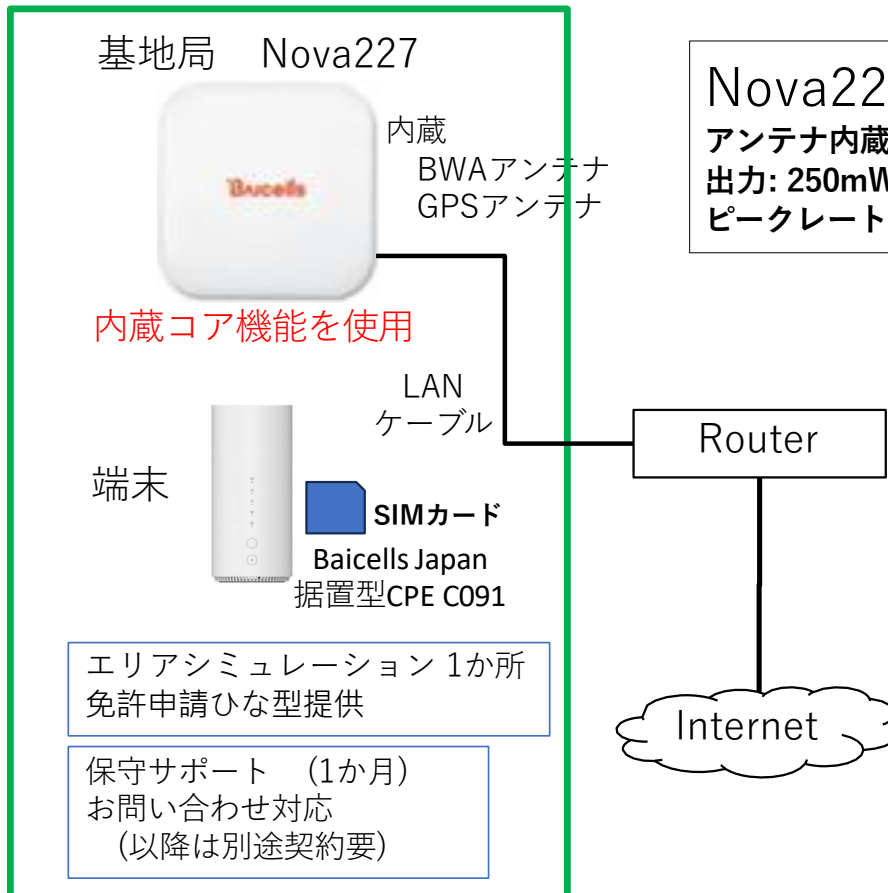
→

ノウハウを提供

トライアルセット

トライアル
セットの範囲

範囲外 スマホ



Nova227

アンテナ内蔵、コンパクトサイズの屋外基地局
出力: 250mW×2、2x2MIMO
ピークレート:DL110 Mbps UL 14 Mbps

お客様でご用意いただくもの

LANケーブル
インターネット接続用回線

オプション

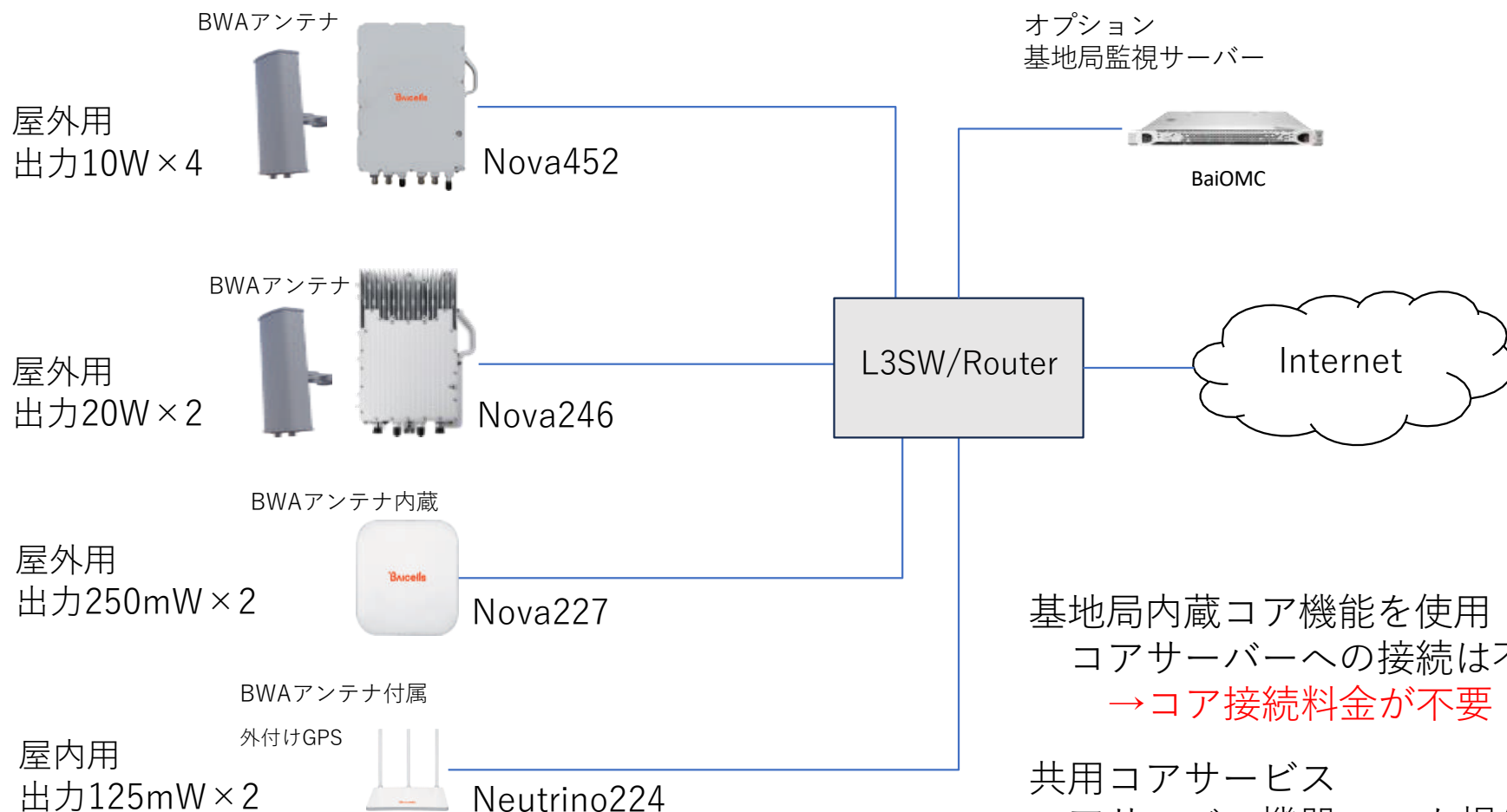
保守サービス

コース1. お問い合わせ対応 (メールヘルプデスク)
コース2. 機器の監視及び電話による通報

別途免許取得支援

エリアシミュレーション
無線設計
申請書類作成、折衝代行

Baicells製地域BWA基地局構成イメージ(内蔵コア使用時)



基地局内蔵コア機能を使用
コアサーバーへの接続は不要
→ コア接続料金が不要

共用コアサービス
コアサーバー機器 も提供予定



2014年設立

LTE、5G機器の製造メーカー



<https://www.baicells.com/>
<http://baicells-japan.com/>

基地局
10万台

端末
22万台

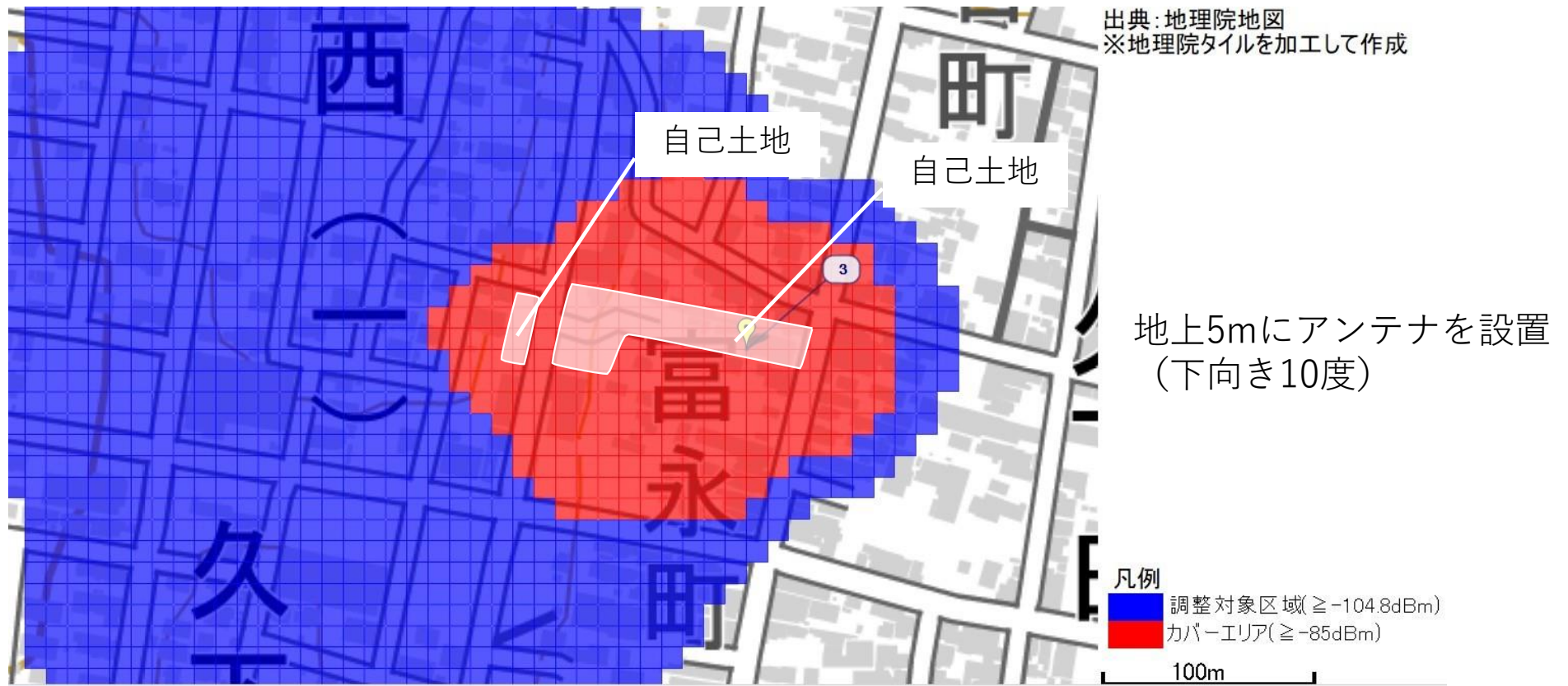


栃木県真岡市での設置例

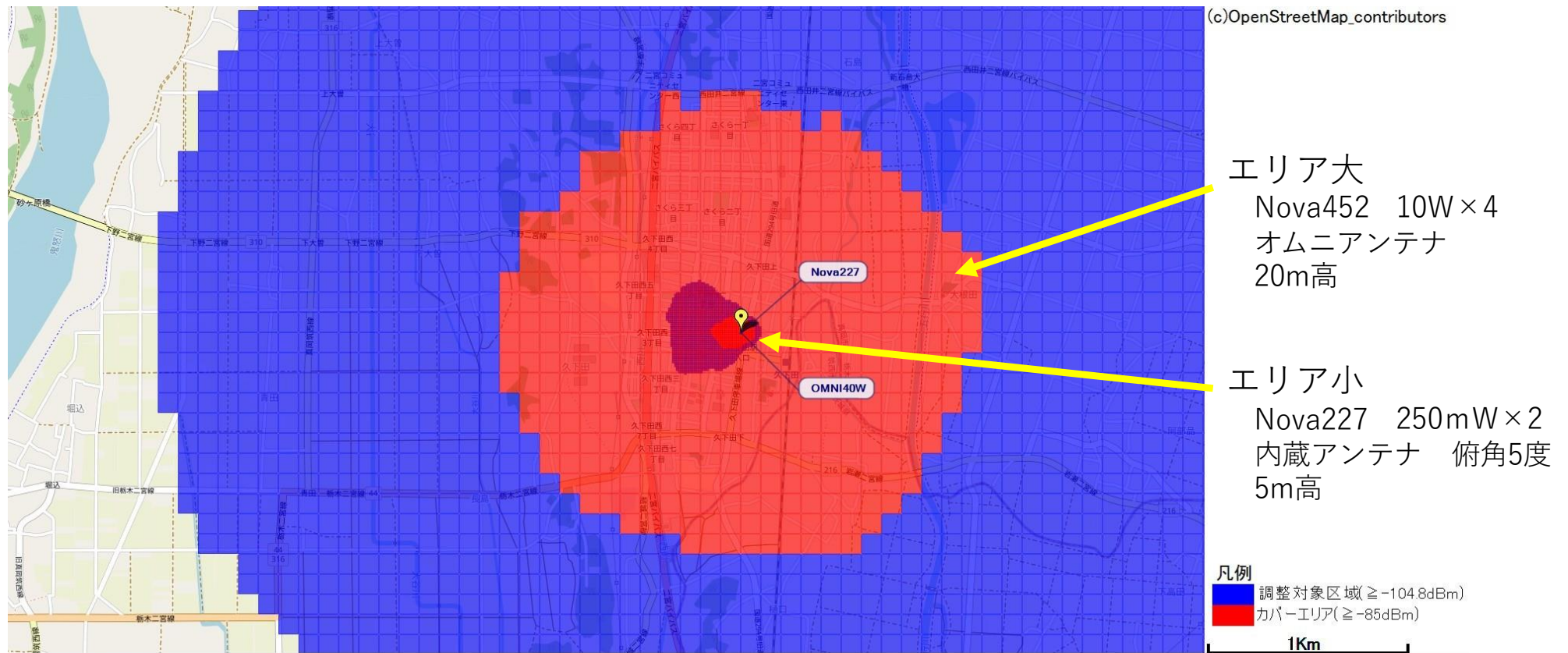


Nova227

真岡市自営BWAのエリアシミュレーション



BWAのエリアシミュレーションの例



販売体制

